

乳幼児健康診査事業実践ガイドに 基づく多職種連携で行う保健指導

② 乳幼児健診の意義と支援の評価



あいち小児保健医療総合センター
山崎嘉久

achemec@gmail.com

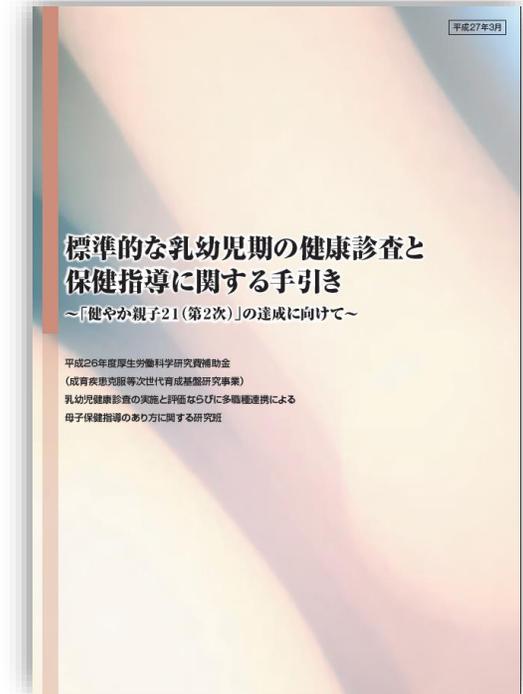
標準的な乳幼児健診と保健指導

地域に暮らす親子の健康の保障



支援者との継続的な関係性の構築

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/tebiki.pdf>



健やか親子21(第2次) 共通問診

【問診】

個別の健康状況を把握



- ・(母親・父親それぞれ)お母さんの(お父さんの)現在の喫煙はどうか。
- ・お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。
- ・保護者が、毎日、仕上げ磨きをしていますか。など



個別の保健指導・支援

※一部の質問文と選択肢を共通とし、個別指導に加え、地域の状況把握に標準的に活用する。

【集計・分析】

地域の健康状況を把握 (健やか親子21指標)



地域の評価と対策

重点課題②：妊娠期からの児童虐待防止対策-2

指標項目名：子どもを虐待していると思われる親の割合

<問診> [3・4か月児]、[1歳6か月児]、[3歳児]は選択肢1～5と8

設問：

この数か月間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。

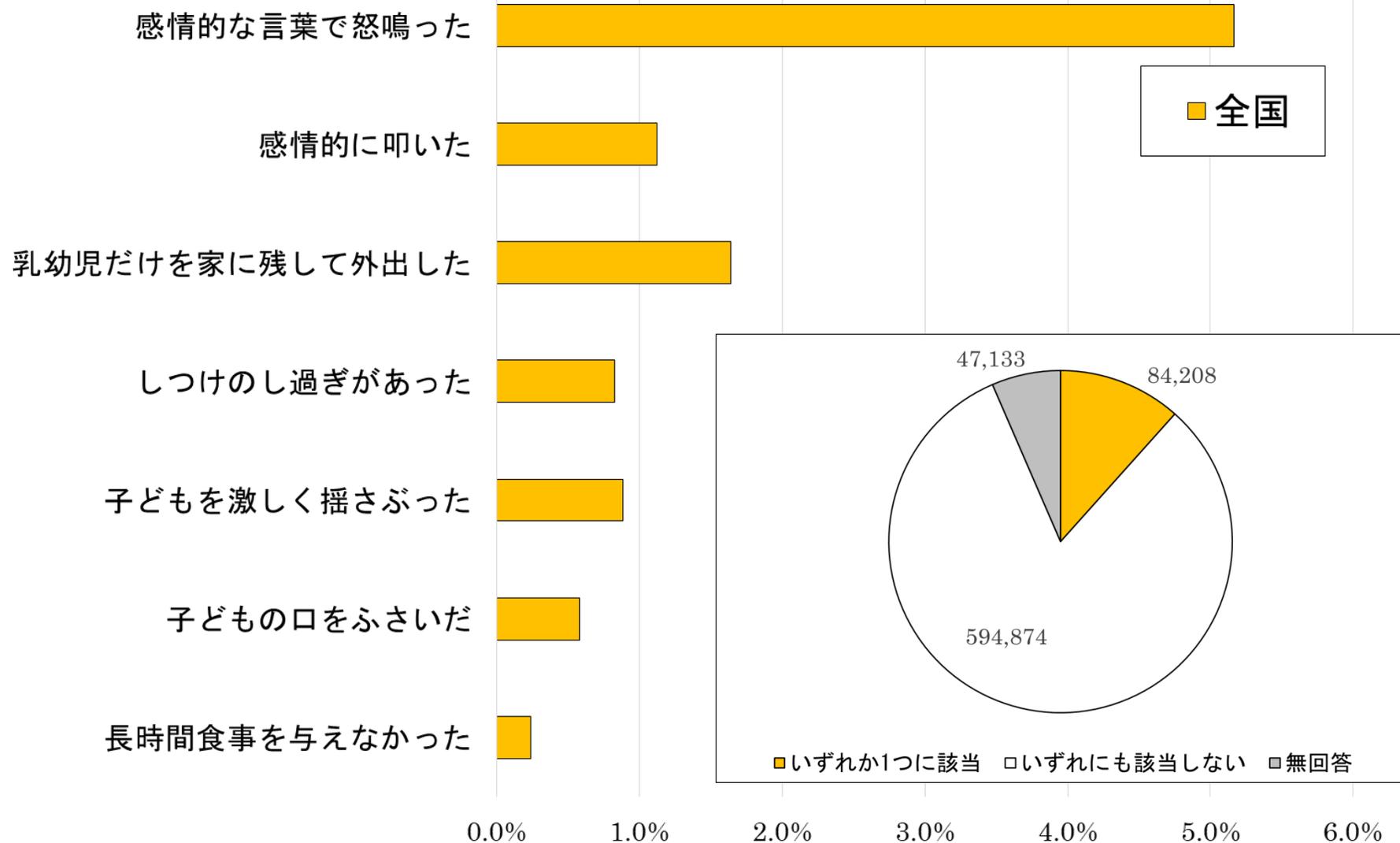
1. しつけのし過ぎがあった、
2. 感情的に叩いた
3. 乳幼児だけを家に残して外出した、
4. 長時間食事を与えなかった
5. 感情的な言葉で怒鳴った、
6. 子どもの口をふさいだ
7. 子どもを激しく揺さぶった、
8. いずれも該当しない

○ 算出方法

それぞれの健診において、「いずれも該当しない」以外の選択肢を1つでも回答した人数/全回答者数×100

乳幼児健診の問診（3～4か月児, 2017年度）

この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。
あてはまるものすべてに○を付けて下さい。



パタン化の罭

4か月児健診

「感情的に叩いた」「感情的な言葉で怒鳴った」「子どもの口をふさいだ」
に回答

＜健診終了後のカンファレンスの意見＞

- ・虐待の可能性が高いので、児童相談所に通報した方がいい。
- ・傷やあざもなく、この位のことは、いくらでもあることなので、事を荒立てる必要はなく、一般の育児支援で良い。
- ・母親は、保健師の話に好意的に話を聴き、指導を受け入れたのだから、このまま経過観察でもいい。

問診

観察

関係構築

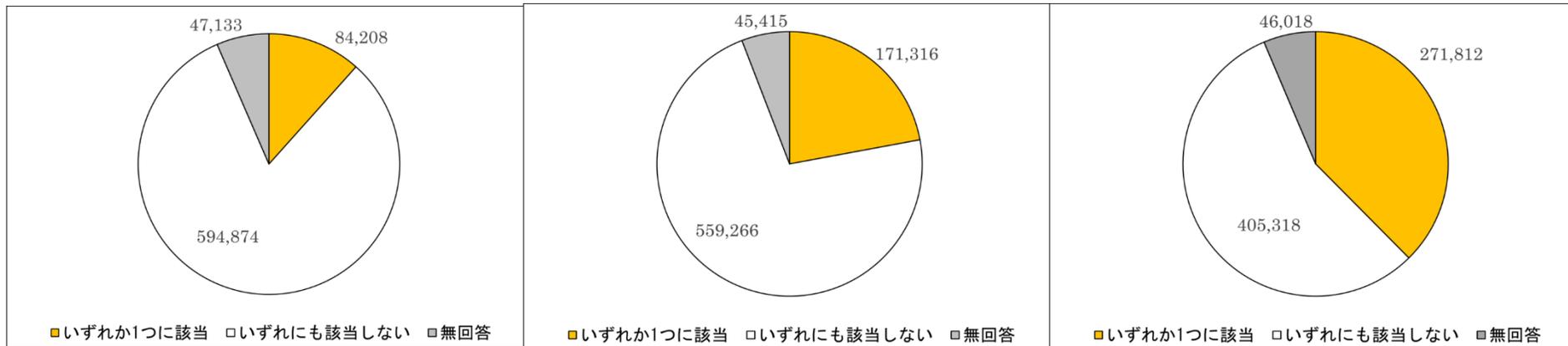
体罰や暴言等によらない子育て

「8. いずれも該当しない」を選択した親の割合 =
乳幼児期に体罰や暴言等によらない子育てをしている親の割合

「健やか親子21(第2次)」の中間評価等に関する検討会報告書(2019年8月30日)
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000041585_00001.html (2019年10月8日確認)

この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。

1. しつけのし過ぎがあった、
2. 感情的に叩いた
3. 乳幼児だけを家に残して外出した、
4. 長時間食事を与えなかった、
5. 感情的な言葉で怒鳴った、
6. 子どもの口をふさいだ、
7. 子どもを激しく揺さぶった、
8. **いずれも該当しない**



3～4か月児健診

1歳6か月児健診

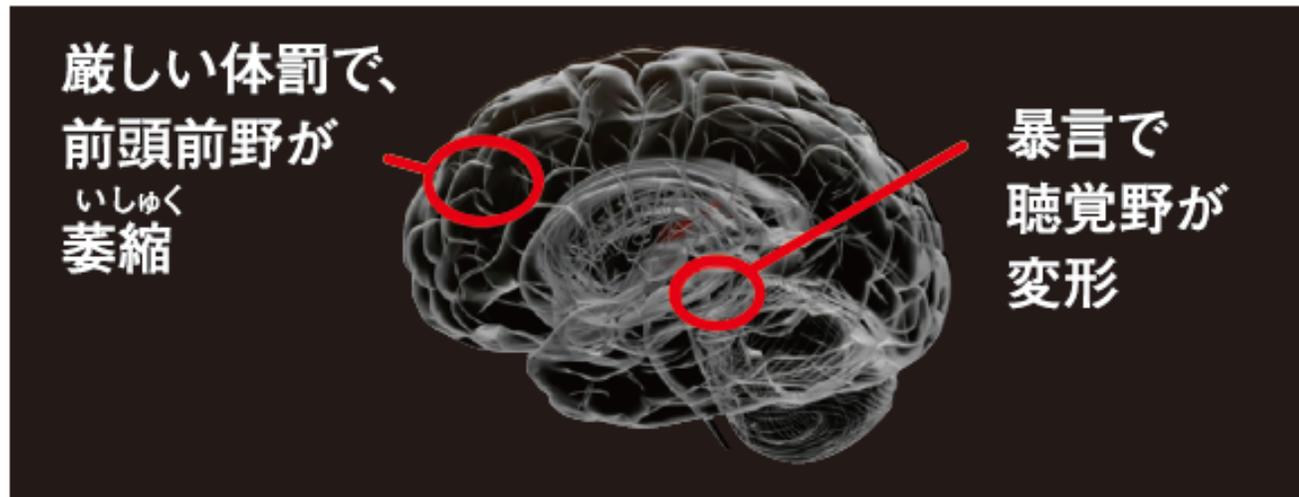
3歳児健診

体罰や暴言等によらない子育てのエビデンス

体罰・暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼします。

脳画像の研究により、子ども時代に辛い体験をした人は、脳に様々な変化を生じていることが報告されています。親は「愛の鞭」のつもりだったとしても、子どもには目に見えない大きなダメージを与えているかも知れないのです。

●子ども時代の辛い体験により傷つく脳



- ・ 厳しい体罰により、前頭前野（社会生活に極めて重要な脳部位）の容積が19.1%減少
(Tomoda A et al., Neuroimage, 2009)
- ・ 言葉の暴力により、聴覚野（声や音を知覚する脳部位）が変形
(Tomoda A et al., Neuroimage, 2011)

提供：福井大学 友田明美教授

<http://sukoyaka21.jp/ainomuchizero>

鷹の爪団の
みんなで子育て大作戦

“愛のムチ”って
まちがってる!?

あんなムチ!!
子どもに手をのべて
何やってんだ!!

関係ないでしょ。
あんたは。

これは、愛のムチ。
しげなんだよ!!

このこれ、田舎の、まじの、おれさん。
わしが、愛のムチ、しげなんだよ。
動画的に、教えて、進めよう。うん。

子育てで困っているとき、不安や心配事があるときは、お母さん、お父さんだけで
悩まず、家族や友達、隣居の協力を求めたり、お住いのまちの子育て相談窓口や
子育て世代包括支援センターへ気軽に相談してみましょう。
また、あなたの周りで気になることがあったら、
迷わず児童相談所 全国共通ダイヤル189 (いち早く)へ連絡しましょう。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

市町村名 子育て相談 検索
189 検索

<http://sukoyaka21.jp/takanotsume>



子どもを健やかに育てるために
～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てをしていると、
子どもが言うことを聞いてくれなくて、
イライラすることもあります。
つい、叩いたり怒鳴ったりしたくなることもありますよね。
一見、体罰や暴言には効果があるように見えますが、
恐怖により子どもをコントロールしているだけで、
なぜ叱られたのか子どもが理解できていないこともあります。
最初は「愛の鞭」のつもりでも、いつの間にか
「虐待」へとエスカレートしてしまうこともあります。
体罰や暴言による「愛の鞭」は捨ててしまいましょう。
そして、子どもの気持ちに寄り添いながら、
みんなで前向きに育てていきましょう。

<http://sukoyaka21.jp/ainomuchizero>

研修方法

<方法1>

- ・「叩かない子育て」のコンセプト説明
- ・ガイドブック(試行版)のモデル事例を用いて、問診のポイントについて議論
(全体討論又はグループ討論)
- ・対象市町村の事例について、問診のポイントの視点を用いて議論
(福井県敦賀市、千葉県市原市、沖縄県本部町・今帰仁村、愛知県東海市、愛知県豊川市)



枝幸町保健福祉センター 2018年10月30日

<方法2>

- ・「叩かない子育て」のコンセプト説明
 - ・設定した事例を用いたグループワーク
- GW1: 論点の整理:「気になったこと」を書き出して討論
- GW2: 自分が面接者だったら、「どう考え、どのように行動するか」を書き出して討論
→設定した事例への対処方法を問診のポイントに沿って説明
- GW3: 学びの整理: 事例からの学びを書き出して討論
- (北海道枝幸町他、栃木県小山市・周辺市町、栃木県県北保健所管内市町、千葉県船橋市)



千葉県船橋市 2019年3月1日

乳幼児健診従事者への研修と、研修後の保健指導による効果の調査

「子どもを虐待していると思われる親の割合」と関連した問診への回答状況を
1歳6か月児健診受診時と、その後3～6か月後で比較する。

2018年

2019年

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

ガイドブック
配布

1,742市町村

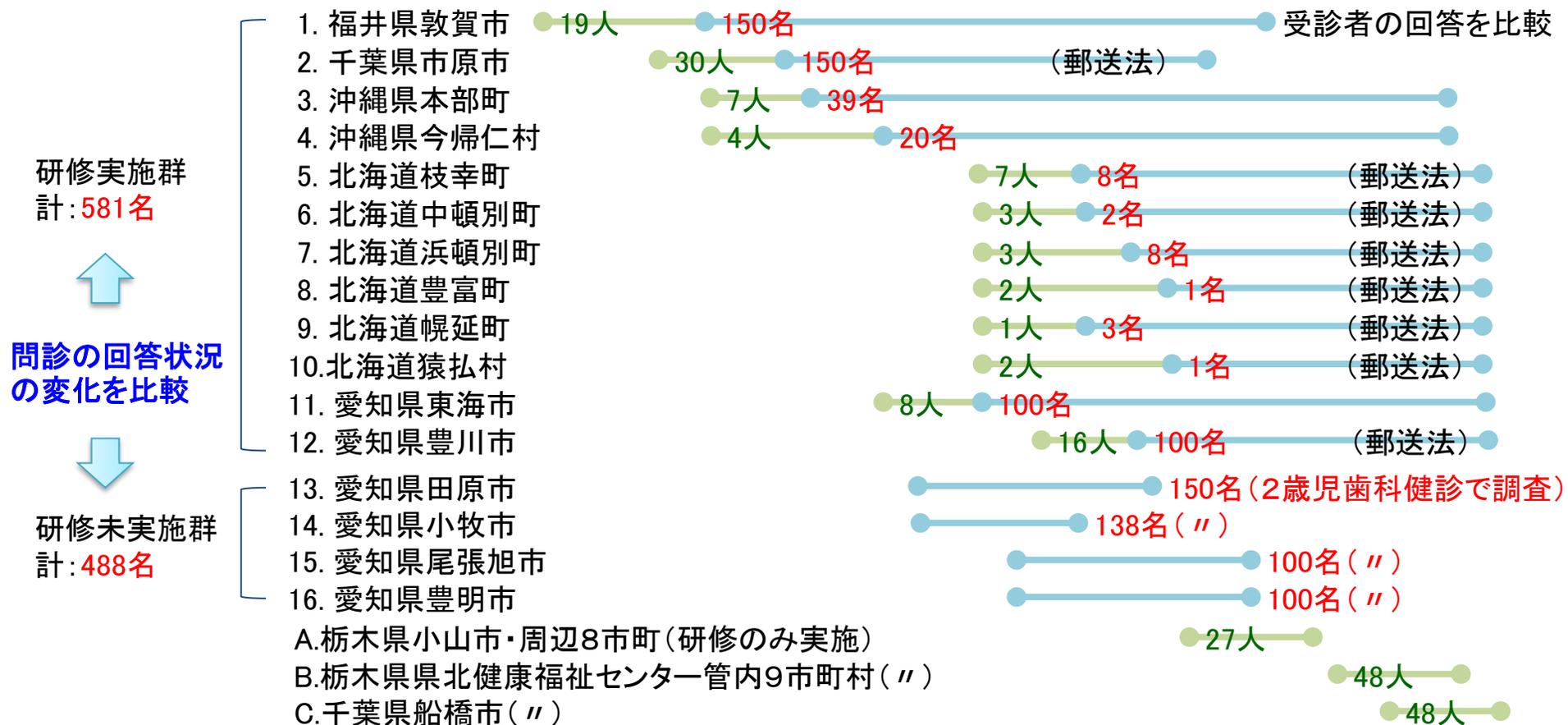
研修市町村
募集

乳幼児健診 1歳6か月児健診
従事者研修 <保健指導>

2歳児(歯科)健診
<対象者調査>

参加人数

対象者数



研修実施群
計:581名

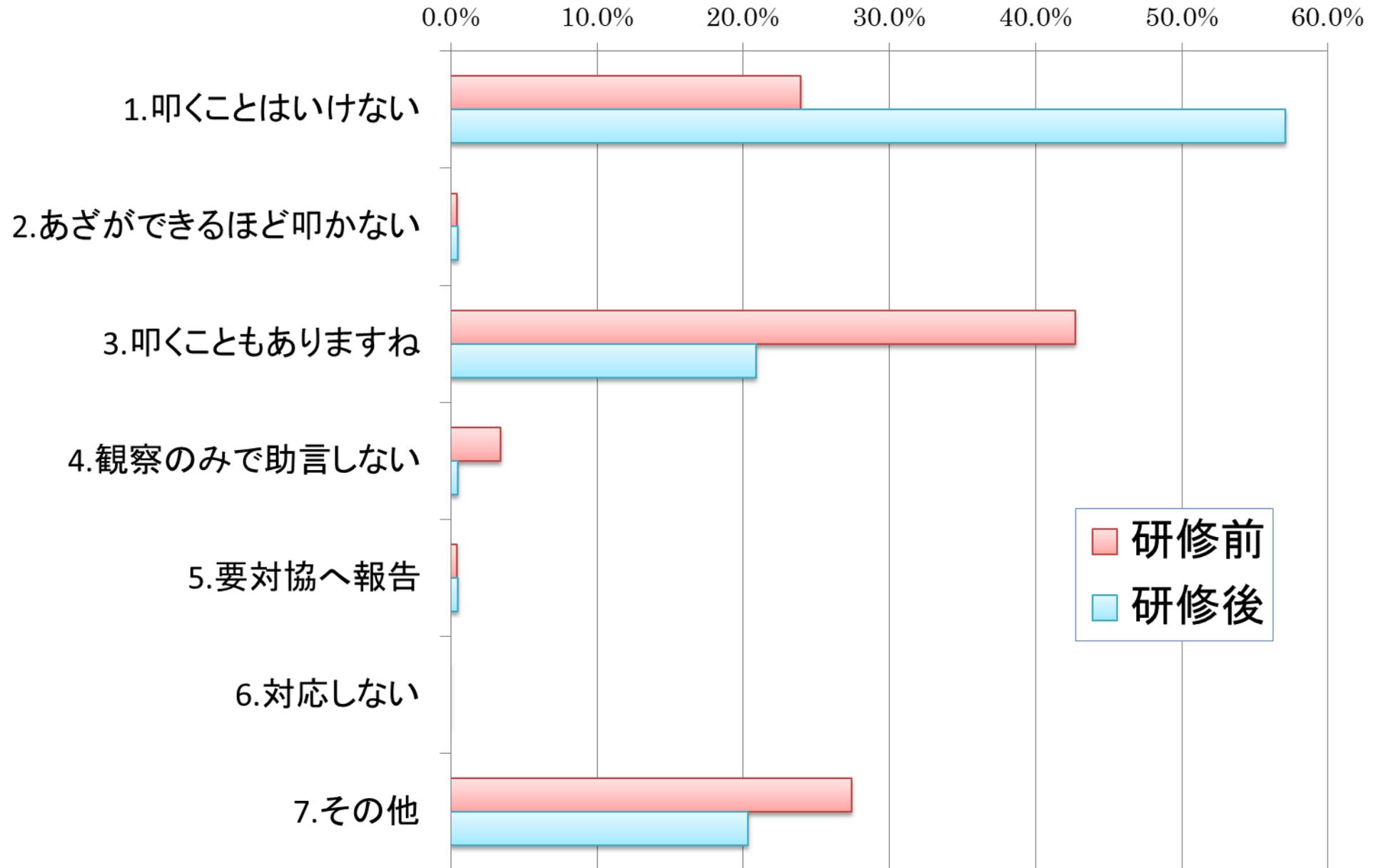
問診の回答状況
の変化を比較

研修未実施群
計:488名

研修会参加人数 計:234人

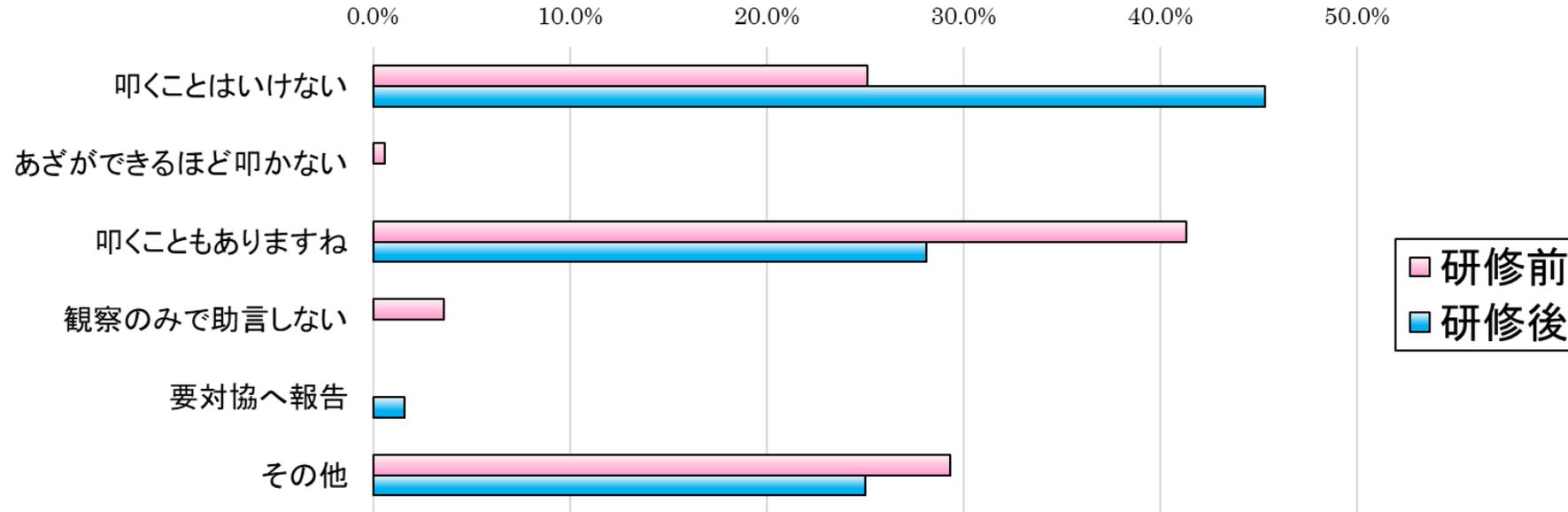
研修前後の従事者アンケートの比較

「感情的に叩いた」との訴えがあった時の対応

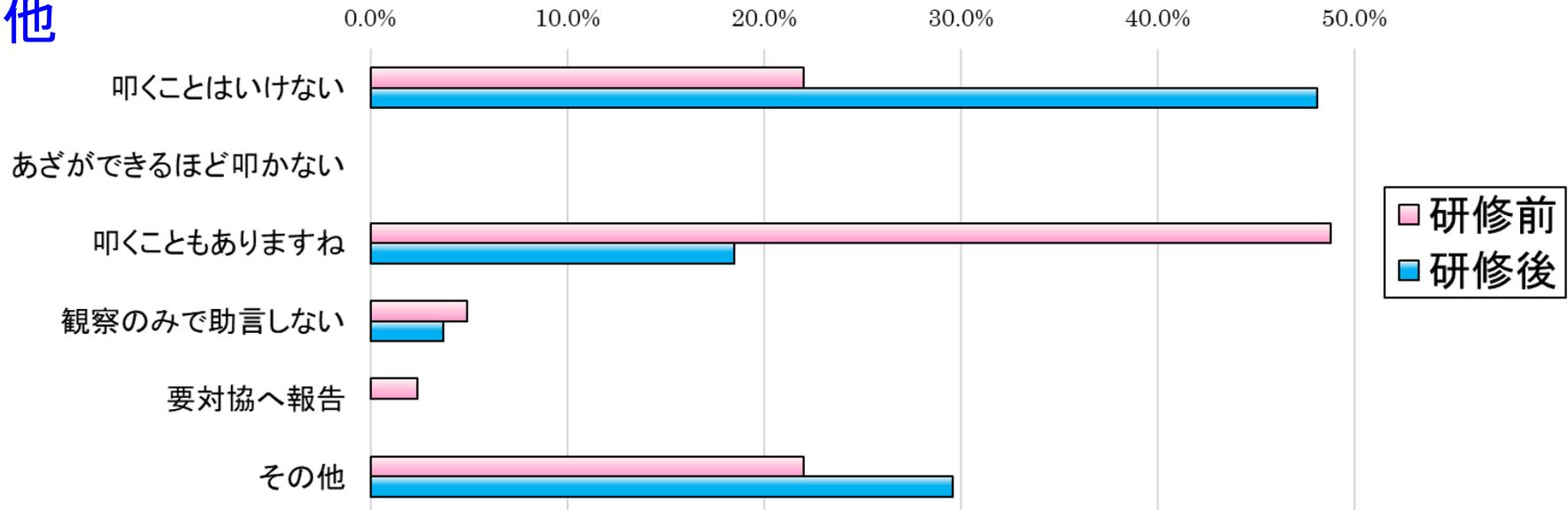


「感情的に叩いた」の対応 職種比較

保健師



歯科衛生士他



乳幼児健診受診者の状況変化

【統計解析】

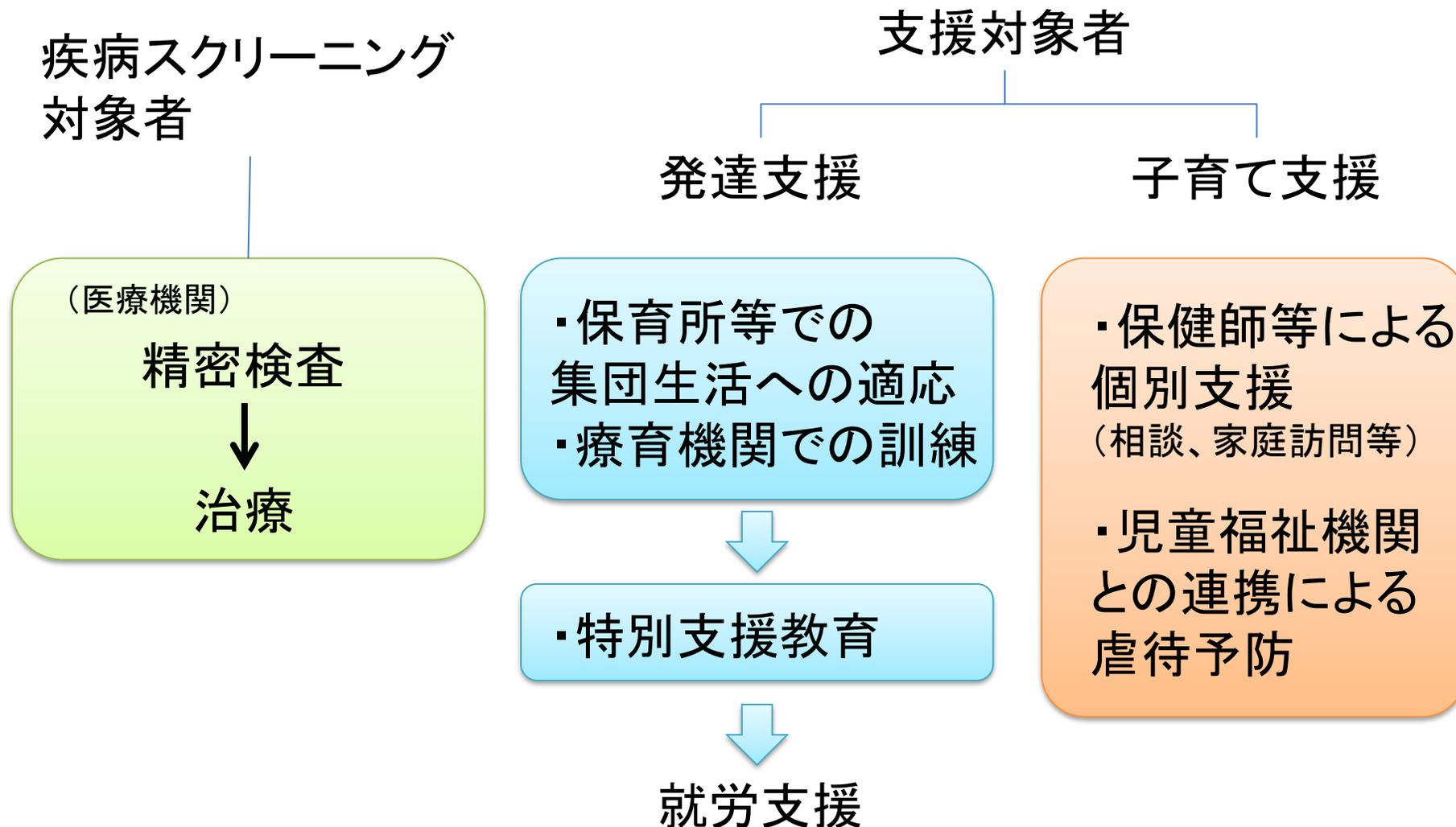
2歳児(歯科)健診の健やか親子必須問診項目の養育不全、虐待に関する項目それぞれを従属変数、介入群・対照群の群分けを固定効果、市町村のクラスターを変量効果として、混合モデルで解析

【結果】

「あなたは、お子さんに、育てにくさを感じていますか。」
で、介入群が対照群に比べ統計的に有意に低かった
($p < 0.001$)。

介入プログラムが、親の育てにくさを改善する効果が示された。

健診後のフォローアップ



精度管理

支援の評価

子育て支援の必要性の判定

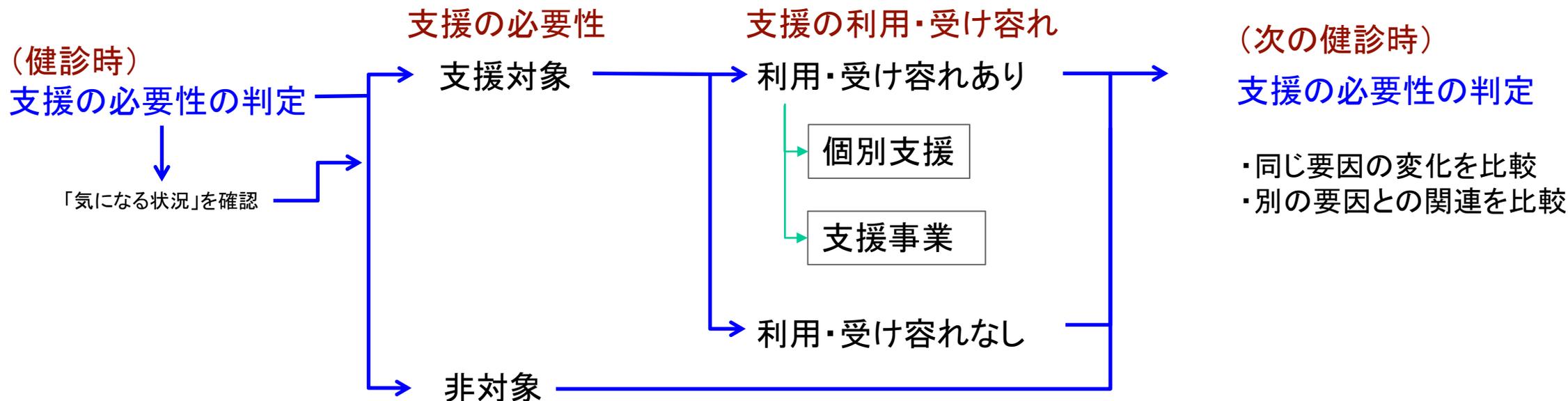
項目名	評価の視点	判定区分	判定の考え方
子の要因 (発達)	子どもの精神運動発達を促すための支援の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要性なし ・助言・情報提供で自ら対処可能 ・保健機関の継続支援が必要 ・機関連携による支援が必要 	子どもの精神運動発達を促すため親のかかり方や受療行動等への支援の必要性について、保健師ほかの多職種による総合的な観察等で判定する。
子の要因 (その他)	発育・栄養・疾病・その他の子どもの要因に対する支援の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要性なし ・助言・情報提供で自ら対処可能 ・保健機関の継続支援が必要 ・機関連携による支援が必要 	子どもの発育や栄養、疾病など子育てに困難や不安を引き起こす要因への支援の必要性について、保健師ほかの多職種による総合的な観察等で判定する。
親・家庭の 要因	親、家庭の要因を改善するための支援の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要性なし ・助言・情報提供で自ら対処可能 ・保健機関の継続支援が必要 ・機関連携による支援が必要 	親の持つ能力や疾病、経済的問題や家庭環境など子育ての不適切さを生ずる要因への支援の必要性について、保健師ほかの多職種による総合的な観察等で判定する。
親子の 関係性	親子関係の形成を促すための支援の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要性なし ・助言・情報提供で自ら対処可能 ・保健機関の継続支援が必要 ・機関連携による支援が必要 	愛着形成や親子関係において子育てに困難や不安を生じさせる要因への親子への支援の必要性について、保健師ほかの多職種による総合的な観察により判定する。

多職種によるカンファレンス等で判定

http://www.achmc.pref.aichi.jp/sector/hoken/information/screening_manual.html
パスワード: achmc

支援の効果を評価する

<支援の評価モデル>



<支援の利用・受け容れの集計と評価区分>

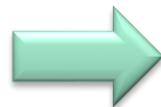
	手段	集計区分	評価区分
個別支援	電話相談	1.相談した、 2.相談できなかった 3.つながらなかった、 4.しなかった	1.受け容れあり：電話相談・家庭訪問・面接のいずれかが"1" 2.受け容れなし：いずれにも"1"がない ("0"でない場合)
	家庭訪問	1.継続訪問した、2.1回で終了した、3.行ったが会えなかった、4.行かなかった、0.対象外	
	面接	1.面接した、2.面接しなかった、0.対象外	
支援事業	保健機関事業	1.利用した、2.利用しなかった、0.対象外	1.利用あり：いずれかの事業が"1" 2.利用なし：いずれの事業も"0" ("0"でない場合)
	他機関事業	1.利用した、2.利用しなかった、0.対象外	

支援の必要性の判定の変化(親・家庭の要因)

3～4か月児健診

1歳6か月児健診

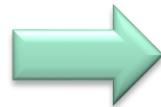
支援対象 15
保健機関継続支援 15
多機関連携支援 0



支援非対象 15
支援の必要性なし 14
自ら対処可能 1

必要性改善

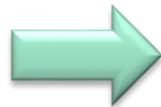
支援対象 13
保健機関継続支援 13
多機関連携支援 0



支援対象 13
保健機関継続支援 12
多機関連携支援 1

継続して支援必要

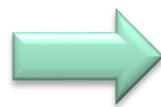
支援非対象 9
支援の必要性なし 4
自ら対処可能 5



支援対象 9
保健機関継続支援 9
多機関連携支援 0

支援必要に変化

支援対象 4
親・家庭の要因 4

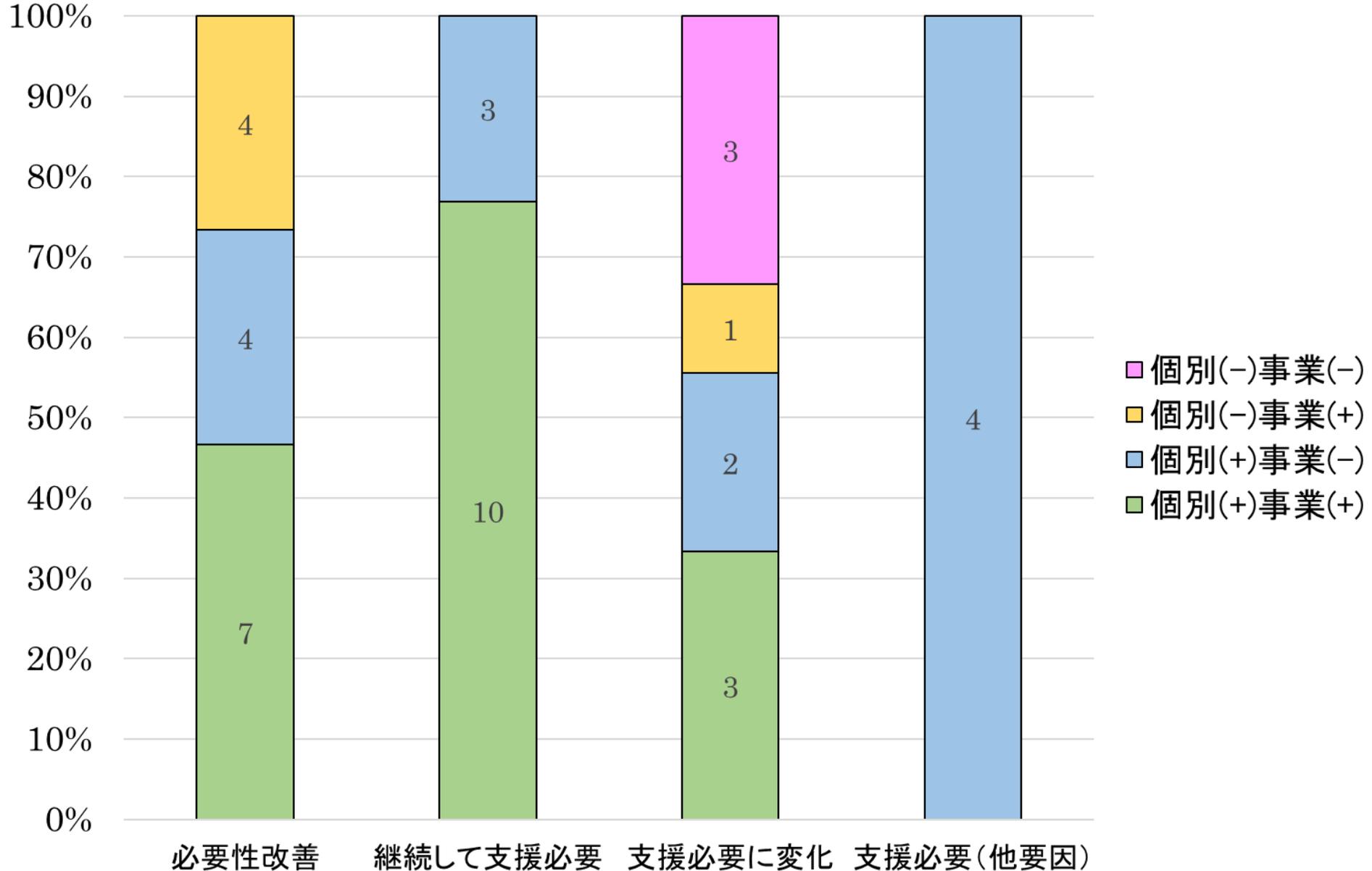


支援対象 4
子の要因(発達) 4
親子の関係性 2*

支援必要(他要因)

(*複数計上あり)

支援の必要性の判定の変化と支援状況



暮らしの中での出会いと支援

母子保健
コーディネーター



子育て世代包括支援センター

エモーショナル
サポート

妊婦健診
出産



家庭訪問

母子保健推進員
民生・児童委員ほか

養育支援訪問
育児相談



アドバイス
エンパワーメント



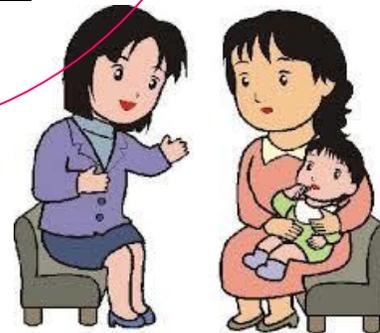
子育ての孤立

歯科衛生士



安心な子育て環境

保育園・幼稚園
子育て支援センター



乳幼児健診